

2026 年度
青山学院大学大学院
社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第 1 期)入学試験

社会情報学コース

「小論文」 問題冊子

受験番号：	氏名：
-------	-----

[注意事項]

1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
2. 本問題冊子は表紙を含め全 2 頁、解答冊子は全 2 枚である。
3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 社会情報学コース
「小論文」問題用紙（2026年度第1期入学試験）

【問題】

1. (1) ~ (3) の問いに答えよ。

(1) A~D の中で、推定量の「一致性 (consistency)」に関する正しい記述はどれか。

- A. 推定量の標準誤差がゼロになる
- B. 標本サイズが増えても推定量の分散は一定である
- C. 標本サイズが増えると推定量が真の値に収束する
- D. 推定量の期待値が常に真の値と一致する

(2) A~D の中で、Randomized Controlled Trial の限界として正しいものはどれか。

- A. 因果推論ができない
- B. 結果の再現性が保証される
- C. 外的妥当性が低くなる可能性がある
- D. 交絡因子の制御ができない

(3) A~D の中で、機械学習における「正則化 (regularization)」の目的として正しいものはどれか。

- A. 訓練時間を短縮する
- B. 特徴量の数を増やす
- C. 過学習を防ぐ
- D. データの前処理を行う

2. 近年、政策決定にデジタル技術を活用するデジタル民主主義が議論され、それを公約に掲げる政党も出現した。資料 1, 2 を参考にしつつ、デジタルプラットフォームが、データ収集や社会の改善に役立つ可能性と限界について、大学の講義や卒業研究、社会での経験などを通してあなた自身が得た知識、あるいは大学院でおこなう研究と関連づけて述べなさい (800 字以内)。

資料1:内閣官房デジタル行財政改革戦略チーム (第2回) 令和7年3月25日 資料6安野構成員
提出資料, https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozakaikaku/senryaku2/senryaku2_siryoku6.pdf

資料2:2025年8月8日付け日本経済新聞夕刊「テック政党、チームみらい 国政変革へAI切り札」

2026 年度
青山学院大学大学院
社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第 1 期)入学試験

ヒューマンイノベーションコース

「小論文」 問題冊子

受験番号：	氏名：
-------	-----

[注意事項]

1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
2. 本問題冊子は表紙を含め全 2 頁、解答冊子は全 2 枚である。
3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 ヒューマンイノベーションコース
「小論文」問題用紙（2026年度第1期入学試験）

【問題1】（全1問）

昨今の生成AIは、人間の学習にどのような影響を与えうると考えられるか。また、それをふまえ、どのような形で学校教育に生かしていくべきか論じなさい。論述に際しては、心理学や認知科学等の学術的知見に言及することが望ましい。なお、ここでいう「学校教育」とは、小学校・中学校・高等学校・大学および専門学校を含むものとする。論述にあたっては、学年を含め、これらいずれかの段階に絞ってもよく、また必要に応じて、科目やトピック等の条件を付して議論しても差し支えない。

2026 年度
青山学院大学大学院
社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第 2 期)入学試験

社会情報学コース

「小論文」 問題冊子

受験番号：	氏名：
-------	-----

[注意事項]

1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
2. 本問題冊子は表紙を含め全 2 頁、解答冊子は全 2 枚である。
3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 社会情報学コース
「小論文」問題用紙（2026年度第2期入学試験）

【問 題】

大学での卒業研究の内容について、あなたが所属を希望する研究室の教員以外の（社会情報学研究科の）他領域教員が理解できるように、合計 1000 字以内で説明してください。なお、以下の内容を含めること。（その際には、以下の①から⑧の数字を利用し、何について記しているのかがわかるようにしてください。）

- ① 研究内容を一文で説明
- ② 研究課題の背景
- ③ 目的・仮説（または設計思想）
- ④ 研究対象・データの概要
- ⑤ 手法（構築物）の選択理由
- ⑥ 検証・実験・評価などの手順
- ⑦ 主要結果（数値は示さなくて良い）
- ⑧ 結果を評価した統計的な手法とその手法を選択した理由

2026 年度
青山学院大学大学院
社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第 2 期)入学試験

ヒューマンイノベーションコース

「小論文」 問題冊子

受験番号：	氏名：
-------	-----

[注意事項]

1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
2. 本問題冊子は表紙を含め全 2 頁、解答冊子は全 2 枚である。
3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 ヒューマンイノベーションコース
「小論文」問題用紙（2026年度第2期入学試験）

【問題1】（全1問）

文化と学習の関係について、具体的な事例に言及しつつ論じなさい。その際、以下に示すトピックのうち少なくとも2つに言及すること。

- ① ヴィゴツキー学派の精神発達理論
- ② 移住や留学など文化間移動が学習に与える影響
- ③ 学習スタイルの文化的差異
- ④ 文化的多様性と学習
- ⑤ 企業文化、学校文化などローカルな文化的実践と学習
- ⑥ テクノロジーの進歩が文化と学習の関係に与える影響
- ⑦ 文化人類学が学習研究に与えた影響